

公表:令和 5 年 3月15 日

事業所名 ゆうべつこどもスペース ぱすてる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		3			
	②	職員の配置数は適切であるか		3			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2			外部評価の結果が次年度になっている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		3			時間も機会も少なかった。
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			同じことをしないように工夫してい	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3				反省も含めて毎日話し合っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3				記録にはないが互いに話をする。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		3			記録は個別なものは確実だが、支援日誌は書かれていないこともあった。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	2			
関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3				児発管が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3				

保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3				遠方からの児童を受け入れて支援ができている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3				障がいがない子どもも多く利用している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		3			町内にはない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3				細かに伝えてはいるが、伝わっているかは不明
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		4			特には行っていない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3				契約時に行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3				都度行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3			父母の会はない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3				出来る限り対応している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3				通信などで発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3				出来ることは怠らない
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3				いつでもだれでも、利用できるようにしている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3				常に表示されている
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3				年6回行ってきた
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3				保護者との確認できている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3				委員会等適切と思われる。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3				計画の中に記載させてもらっている。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 5 年 3 月 15日

事業所 ゆうべつこどもスペース ぱすてる 保護者等数(児童数) 20名 回収数 13名 割合 65.0

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			2		
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12			1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12			1		
保護者への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか						
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	5	5		3		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	10		1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	13					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	1	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8			4		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			3		

非常時の対応 満足	⑮	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13					
	⑯	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13					
	⑰	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13					
	⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13					
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12			1		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13					

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:令和 5年 3月15日

事業所名 ゆうべつこどもスペース ぱすてる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1			
	②	職員の配置数は適切であるか		3		広く子供を見守れる環境にしている。	一人になりたい子は現状はいないがこの先は環境整備したい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			部分的に段差をなくしている。	全体にはできない。場所を借りているため
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			毎日行っている。職員間の連携も整う。	職員が多くなればその機会を増やしていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1		事業所としてはできていると感じても、受け止めは違うようだ。	改善できることは毎年行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3		今年、初めて行った。	子どもたちの気持ちは知ることができた。公平に評価したい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		3			午前午後とも時間に追われている。改善したい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			保護者との話からアセスメントを作成する。	事業所では対応できないこともある為、関係機関と相談していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3		それがすべてではないが、参考にしている。	年齢だけではなく成長が見られるように関わっていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			同じことをしないように、毎年工夫をしている。	保護者からはそう感じて頂けていないことが分かる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		3		利用児にばらつきがある為、臨機応変に対応している。	これからも変わらない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			達成感が持てるよう工夫している。	勝ち負けではない満足感が得られるよう支援している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			流れを確認する。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			ノートに書くことはないが、口頭でのやり取りをする。	改まった時間ではないがいつも話題は子供たちのことが多く、自分たちの糧にもなっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			毎日行っている。	次回からの支援に繋げている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			毎月反省を行い、保護者からの意見で終了を決める。	利用される方が決定権があるので必要かどうかは判断していただく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3			静と動の活動を行いながら生活の中で役立つ動きを知らせる。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1		児発管が出席する。	

関係機関や保護者との連携	②①	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3			職員一人一人が行っている。報連相ができる。	今後も徹底していきたい。
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3		現在はいないため	必要な連携体制は考えていきたい。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			関係機関連携は実施している。	今後も情報交換はしていきたい。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			徐々につながれるように行っている。	途中で利用を終えてしまった時に対しては非常に気になっている。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			機会があれば参加するようにしている。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			全員が障がいがあるわけではない。	行事として計画したこともあるが参加を求めていくのは難しい。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			3	協議会がない為	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		3		伝えてはいるが、理解しあえているかはわからない。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3			
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約時に行っている。	利用料金が個々で違うため説明が難しい。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			必要な方にだけ行い、あまり多くは助言しない。	医療への受診などお勧めすることがある。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	父母の会はないが、自然にかかわっている。	父母の会は必要性を感じない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1		児発管へ報告し流れに沿っている。	今後も変わらないと思うが必要な時は管理者からの面談等も検討できる。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			ほぼ毎月	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	3				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			時間を作っている。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3			誰でもが入っていきやすく制限しない。	ご近所のお子さんも来ていることがある。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			年6回、必要な災害を想定している。	
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1			
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3			保護者さんへも説明させていただきながら記入している。	
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			契約時に確認している。	
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			多くないように支援している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 5年 3月15日

事業所 ゆうべつこどもスペース ぱすてる 保護者等数(児童数) 27名 回収数 15名 割合 55.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1			職員が何人いるかが分からないための答えです。	毎年幾人かは増えたり減ったりします。4月のお手紙で紹介しています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12			3	見たことがない。	お迎えなどに来たり、いつでもいらしてください。
適切 な支 援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	1		2		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11			4		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2		9		利用している子がみんな障がい児ではありません。遊びに来た子供たちとの交流もあります。
保護 者へ の説 明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			2		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2		1	契約が自動なので	助言はしますが、送迎時のためあまりうまく伝えられていないことを理解しました。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12			3	あまり興味がない	
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2				
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1				
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14			1		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	15				気にしていない。	
非常 時等 の対 応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15					
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15				避難訓練をしたことを聞いている。	
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	9	6				学年が上がると他にやりたいことも増えて不満を持っている子もいます。対応が難しいです。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	11	4				ご意見があればお知らせ頂きたい。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。